



～夢を育てる学校 自慢の学校～

国立二小だより

平成29年5月1日

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

あたたかい言葉と心遣い

校長 小林 理人

本校の教育目標は、(知)かしこく(徳)あたたかく(体)つよくの3つです。

昨年度までは**あたたかく(徳)**を重点目標として「全ての命を大切にすること」「仲よく助け合うこと」を中心に3年間取り組んできました。今年度からは、重点目標を**(知)かしこく**として取り組んでいます。先日、3年間の取組の成果を感じることがありました。

4月に行われた避難訓練後のことです。上履きの靴底の汚れを玄関で落として入ったものの、泥や枯れた芝が落ちにくかったため、廊下や階段がかなり汚れてしまいました。すぐに職員がモップを用意し、廊下をきれいにしようとした時、数人の子供たちが「手伝いましょうか。」と声をかけてくれました。そして、一緒に掃除を始めていると、それを見ていた他の子供たちが教室からほうきやちりとりを持ち出し、掃除を手伝ってくれました。

「下の階もやりますか・・・。」と進んで取り組む姿や、廊下や階段を通る子供たちの「ありがとうございます。」などの声かけをうれしく思いました。二小の子供たちの温かい心に触れ、思わず笑顔になる場面でした。

このような温かい言葉や心遣いは、一朝一夕で身に付いたわけではありません。生活の場である家庭や地域、そして、学びの場である学校での豊かな経験と人との温かい関わりを通して、学んだり身に付けたりしたことです。温かく見守る家庭、地域、そして、学校の、子供たちを思う心や指導がひとつになって育てた心が言葉や行動に表れているのだと思います。

5月は「**団結**」という言葉を意識します。子供たちの目標でもある「心ひとつ」を様々な場面で意識し、学校全体のつながりを強くします。そして、保護者や地域の皆様とのつながりも一層確かなものにし、教育目標の実現や笑顔いっぱいの学校をめざします。

「希望」の4月～ 学年だよりのタイトルに込めた担任の目標、思い願い

毎月発行している学年だよりのタイトルには、それぞれの学年の特性を踏まえた担任としての目標や子供への熱い願い、思いが込められています。

<1年生・なかよし>

全校の子供たちが「心ひとつ」に「笑顔いっぱい」の国立二小にすることを1年生でも分かる言葉で表しました。みんながなかよしの学年になることをめざします。

<2年生・サンフラワー>

サンフラワーは笑顔の象徴でもあるひまわりのことです。2年生は、笑顔いっぱいの学年になるために、ひまわりのように元気で明るく毎日を過ごします。

<3年生・ステップアップ>

3年生は、高学年のやることを見て学びながら、低学年の子供たちに手本を示していく学年です。一つ一つのことを確実に積み上げて進歩し、新たな目標に向かってがんばってほしいという思いを込めました。

<4年生・マキマシム>

マキシマム「Maximum」の意味は「最大限」です。子供たち一人一人の力を最大限に伸ばし、最高の学年、学級にしたいとの思いを込めました。

<5年生・カラフル>

みんなの個性が光り輝き、お互いの良さを認め合うことのできる学年になってほしいという願いを込めました。

<6年生・エンジン～円陣>

子供たち一人一人が学校、学年の“原動力”であり、全員で“円陣”を組んでリーダーシップを発揮してほしいという願いを込めました。

<プラタナス・プラタナス>

「プラタナス」の花言葉は「天才」「好奇心」で、哲学者プラトンがプラタナスの植わっているアカメディアの森で哲学を説いたことに由来すると言われています。プラタナスのように大きく育ち、一人一人の個性を磨いてほしいという願いが込められています。